

第1例 49 ♀ 主訴は習慣性口峽炎と咽頭部の不快感及び関節ロイマ（肩胛，膝，肘）

第2例 23 ♀ 主訴は關節痛（膝，肩胛，足關節）

第3例 23 ♀ 主訴は關節痛（膝，肩胛，足關節）と全身の倦怠感

第4例 24 ♀ 主訴は多發性關節炎にて關節の腫脹疼痛あり，諸關節の強直ありて立てず，衰弱甚しく微熱あり。

以上4例は何れも口峽炎の病歴を有する者であるが，第1例のみは入院當時も口峽炎ありたり。扁桃腺に就いて共通なる事は軽度の肥大を有する第1例を除いて他は凡て埋没性であり，上扁桃腺窩深く何れも1~1.5cm，摘出扁桃腺の重量が1.8~2.5gの小扁桃腺にて癒着高度である點であつた。扁桃腺の結果は第1例は全治にて退院，第2例は術後日尙淺く扁桃腺創面未だ治癒せざるに退院せるものにて退院後疼痛尙存したるも其後關節痛和らぎ座位をとれる様になりたり。第3例は關節痛殆んど全治して退院す。第4例は未だ入院治療中の者であるが，牙關緊急輕快，關節痛變化なきも微熱消失し一般狀態良好に向ひつゝあり。

#### 考 按

關節ロイマを有する者の扁桃腺摘出症例に就いて笹木教授は昭和16年12月までの扁桃腺性關節炎症例15例中扁桃腺により全治せる者9例，輕快又は一部關節痛を残し治癒したる者5例，治癒を見ざる者1例を報告されて居る。又之等扁桃腺の肥大度，重量に就いては最近迄の手術例39例中肥大せざるもの32例，第一度肥大4例，第二度肥大3例で，重量は平均2.4gとなつて居る。即ち單純なる慢性扁桃腺炎の扁桃腺よりも一般に遙かに小である。

私が経験した症例に就いて見ると，術後日尙經ざるを以て確實なる事は云ひ得ざるも全治1例，殆んど治癒1例，輕快2例である。肥大度に就いて見ると軽度の肥大1例，埋没性3例，平均重量2.0g，最小1.8g，最大2.5g，であつた。

#### 結 語

本症例は何れも扁桃腺摘出により關節痛を治癒又は輕快せしめたものであるが，局所所見として扁桃腺は埋没性のもの多く，上扁桃腺窩相當深く，癒着高度にして且摘出された扁桃腺は小である。

以上4例中全治した最初の1例は手術前まで尙時々口峽炎を有して居たるもので，關節痛を生じてより比較的早期に扁桃腺を行つたものである。他の3例も術後日尙淺き故に未だ全治の域に達せざるも漸次良好となりつゝあり，向後の症狀を觀察中なり。

これより見ても關節ロイマチスムスの治療法として扁桃腺が著効ある事が考へられる。

## 26. 扁桃腺及びアデノイド手術1年後の調査成績に就て

東京女子醫學専門學校耳鼻咽喉科教室

窪 敦 子

扁桃腺及びアデノイドの病的状態が健康及學業成績に及ぼす影響が注意され，其手術的治療が強調されて以來之を希望する者多く，術後概ね所期の目的を達せるを感謝せらる。乍然，必ずしも凡てに於て満足するとは限らず，殊に扁桃腺組織の生理的機能の未だ分明せられざる今日，手術的除去による何等かの後障害を懸念する向もあり。

當教室にては，昭和15年度（王子區王子）及び16年度（荒川區町屋）の兩年に於ける本校主催の夏期無

料診療所に於て施行せる扁桃腺及びアデノイド手術合計 168 例に、特に種々の事項に就て問診し、記載明瞭なる 128 例に對し、約 1 年後に次の如き問ひ合せ状を出せり。即ち、1. 學業成績、2. 健康状態、3. 體質、4. 性質、5. 呼吸状態、6. 鼾聲、7. 流涎、8. 音聲、9. 夜尿、10. 鼻、11. 耳、12. アンギーナ、13. 風邪、14. 咽頭異物感、15. 淋巴腺腫脹、16. 腎臟炎、17. 其他罹患せしや、等に就き手術前との異同状態を質問し返事を求めたり。返事なきもの、或は返事の不備なるものを除外せる 100 例に就て、術後の影響を調査せる結果を報告せんとす。

## 追 加

磯 田 仙 三 郎

1. アデノイド摘出によつて治る夜尿症は強度のアデノイドの爲め腹這に寝る者の夜尿症の場合に効果がある事を経験してゐる。
2. 問ひ合せ調査の注意、Aなるある喘息患者が喘息専門醫師に治療を受けた際、醫師はAの知人なるBなる喘息患者がこの治療に依つて全治したとの話をした。然し事實はその醫師の信する事と反對にB患者は少しも良くなつて居らない。Bの話によると、その醫師の問合せに對しては治つたと返事して置いたのだとの事であつた。

## 27. クロナキシールとミエログラフィー

大阪帝國大學醫學部小澤外科教室

鬼 頭 阿 佐 夫

神經機能検査に立脚するクロナキシールと脊椎管内に注射されたる沃度油の停留を目安とするミエログラフィーとを比較する事は、理論的には如何かと思はれるが兩者の臨床的應用に關しては許さる可きである。當教室に於て測定したる記載明瞭なる 70 例の脊椎弓截開術症例に就て兩者を比較検討してクロナキシール法はミエログラフィーより遙かに明確に病竈殊に其高位判定並に左右性即横位に關しても診定し得る事を述べ、脊髓疾患の有力なる補助診断法として本法を推奨せんとす。

## 28. 肺 癌 摘 出 治 驗 例

大阪帝國大學醫學部小澤外科教室

鬼 頭 阿 佐 夫

55 歳の女子に於ける子宮高轉移による右肺上葉癌の肺葉全摘出の症例を報告し、併せて當教室に於て賞用せる崎原式氣管枝斷端處置法を紹介せんとす。

## 29. 先 天 徽 毒 の 臨 床 的 觀 察

東京女子醫學專門學校小兒科教室

鈴 木 壽 和 子

過去十ヶ年間東京女子醫學專門學校小兒科教室を訪れたる 80 名の先天徽毒患兒を種々觀察せり。徽毒兒の母の分娩總數の 22.5% は早流死産等にして患兒も 21.5% は早産兒なりき。男子 43 名、女子 37 名にして一年未滿 70 名、一年乃至四年 3 名、四年以上 7 名なり。乳兒期に於ける主症状の出現時期は生直後